

巨人ゴーレム (1920)

DER GOLEM, WIE ERIN DIE WELT KAM

メディア 映画

ジャンル ファンタジー

製作国 ドイツ

色彩 B&W

時間 63分

初公開日 1923/10

公開情報 劇場公開

【解説】

35年のデュヴィヴィエ作品ほか、何度か映画になっている中世ユダヤ伝説の最初の映画化。まるでモンゴリアンの容貌の戦前ドイツの名優P・ヴェゲナーが主演し、共同脚本、監督も務めた。ボヘミア（現チェコ）のプラーク（プラハ）を舞台に、ユダヤ寺院で発見された巨人像が古えの呪文によって命を吹き返し、持主である古美術商の言うがままに働き、やがて人の心が芽生え、主人の娘にほのかな恋心を抱く様を描く。当然、その想いは拒まれ、それまで優しくかった少女は彼に怯えるようにさえる。人造人間は失望から狂乱し、ひたすら彼女を追い詰め、道を遮るものは片っ端から破壊して行く。折りしも、古城内のゲッターには虐げられたユダヤ人たちが幽閉されていた……。律法（ラビ）博士が巨人像を使い民族を解放するという伝説そのものからやや離れ、より映画的・非政治的な味つけによって、ユダヤの物語であるにも関わらず、丁度第一次大戦敗戦で欧州の中で孤立を深めていたドイツ観客に大いに支持された。ヴェゲナーはノーメイクでも充分怖い怪物面。

【クレジット】

監督	パウル・ヴェゲナー	Paul Wegener
	カール・ボエゼ	Carl Bose
脚本	パウル・ヴェゲナー	Paul Wegener
	ヘンリック・ガレーン	Henrik Galeen
撮影	カール・フロイント	Karl Freund
	グイド・セーベル	Guido Seeber
出演	パウル・ヴェゲナー	Paul Wegener
	アルベルト・スタインリュック	
	エルンスト・ドイッチュ	Ernst Deutsch
	リディア・サルモノワ	Lyda Salmonova